

設計者の皆様へ

## TBTC 新「(仮称)自己評価書作成支援システム」のお知らせ

平成 19 年 10 月 2 日

株式会社東京建築検査機構 性能評価事業部

設計者の皆様には、住宅性能評価の取得に当たり弊社の「評価書自動作成システム」をご利用いただきありがとうございます。

その一方、設計者の皆様より、弊社の「評価書自動作成システム」に関して、「自己評価書の提出枚数が他機関に比べ多い」「使いづらい」等のご意見を頂戴しております。

そこで、弊社では、「自己評価書の提出枚数の削減」と「設計者と評価員にとって使いやすく分かりやすい自己評価書作成へ」を基本として、現在、新「(仮称)自己評価書作成支援システム」の作成作業の最終段階に入っております。

### 新「(仮称)自己評価書作成支援システム」の主な改良点

#### 1. 自己評価書の構成を従来の「タイプ別」から「項目毎のグループ分け」に変更

- ・評価項目毎のグループ分け構成の採用により新システムの自己評価書の提出枚数を、現在のシステムの 1 / 3 程度を目標とする。

#### 2. 等級等の入力省力化

- ・等級等のグループ分けの際、評価項目により「一括入力」を選択できるようにし、設計者の皆様の入力の省力化を図る。

#### 3. 等級別自己評価書の採用

- ・評価項目によっては、等級毎の書式を採用し、自己評価書の作成及び評価員の審査において精度のさらなる向上を図る。

#### 4. 「更新対策(住戸専用部)」に関するシートの新規作成

- ・躯体天井高等に関する一覧表を「(仮称)構造躯体調査シート」として自動作成し、現システムの「光・視環境調査シート」同様にそのシートに自己評価内容を記載していただき、そのシートにて評価員は審査を実施する。
- ・さらに、建設評価においても、施工管理者配布用の記録シートを弊社で作成し、建設評価時の提出書類としていただく。

以上が、現在、開発中の新「(仮称)自己評価書作成支援システム」の改良点の概要となります。

この秋の深まる頃までには、設計者の皆様に新「自己評価書作成支援システム」をお披露いたしますので、今しばらくの間、お待ちしております。

以 上